

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和3年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和3年8月23日(金) 午後1時30分～午後3時30分

●場所 江南市役所 3階 第三委員会室

●出席委員(21名)

会長	石井 進	副会長	埴田 惣一
委員	木村 嘉宏	委員	西部 茂夫
委員	尾関 委代子	委員	多湖 直希
委員	古田 みちよ	委員	川合 龍司
委員	前田 義和	委員	尾関 眞
委員	森 ケイ子	委員	中西 健仁
委員	古田 一二三	委員	岩井 喜美子
委員	中島 伸二	委員	大岩 直文
委員	黒岩 弘子	委員	阿部 枝美子
委員	松浦 大介		

●欠席委員(7名)

委員	大島 孝允	委員	大塚 毅彦
委員	秦 公輝	委員	八木 幸男
委員	富山 賢二	委員	望月 晴夫
委員	高木 則雄		

●事務局

環境課 課長 牛尾 和司
環境課 主幹 前田 茂貴
環境課 主任 米嵩 浩之

●会議経過

開 会

●事務局

皆様、こんにちは。環境課主幹の 前田 でございます。

本日は、「令和3年度第2回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

(定刻にもなり、出席を予定されている方がほぼおそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。)

それでは、今後の会議の進行を、石井会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願

たします。

●会長

江南市廃棄物減量協議会の会議は、一般の方にも公開しております。本日は傍聴を希望する方がお見えになります。

「江南市審議会等の設置及び運営に関する指針」第7条第2項の規定により、傍聴に関して必要な事項は会長が会議に諮って定めることとなっておりますので、委員の皆様にお諮りします。

会議の傍聴に関して異議のある方はいらっしゃいますか。

<異議なしの声あり>

異議なしとのことですので、傍聴人の入室を許可します。

それでは、議題に入らせていただきます。

議題①「啓発事業について」、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今、啓発事業につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●委員

江南団地では3カ月に1回、資源ゴミ当番の人たちに分別DVDを見ていただき、「なぜ分別が必要なのか」という啓発を行っています。現在の分別DVDは令和元年に作成されたということですが、ほとんど前回の映像の使いまわしです。分別のルールが変わった部分などは新しくなっているが、映像が古くなっているので、しっかりと作り直してほしいと思います。

●事務局

分別方法やごみ減量啓発も含めた内容の啓発DVDの貸し出しや、ホームページ上での閲覧ができればより分かりやすいと思います。啓発に関しては、地区懇談会が新型コロナウイルス感染症の関係でなかなか開催できないが、できる限り実施していきたいと考えています。今、委員さんからお話がありましたように啓発DVDがあると地区懇談会に赴かなくても啓発が実施できると考えます。作成については検討していきたいと思います。

● 委員

ワンウェイプラスチックとは具体的にはどういうものか。

● 事務局

ワンウェイプラスチックというのはコンビニやスーパーなどで使われるプラスチック製のスプーンやストローなど一回使って捨てられるプラスチック製品を指します。令和 3 年度 6 月にプラスチック資源循環推進法が可決され、プラスチックの循環を促進する法律が出来ました。令和 4 年 4 月に施行予定です。まだ具体的な内容は明らかになっていませんが、レジ袋と同じようにワンウェイプラスチックの使用抑制などが考えられます。

● 会長

消費者が不要なスプーンやストローをコンビニなどで提供を断ることや、プラごみはプラごみとして資源ごみにきちんと排出するなど努めれば環境への影響はゼロへ近づいていくと思います。

● 事務局

他に質問がないようですので、事務局より追加でお願いがあります。

環境フェスタについて今後どうしていくかということです。前回の会議でも説明しましたが、昨年度江南市は、様々な事業についてスクラップ&ビルドを行いました。判断基準として、イベントの参加者、基準は 3 万人ですが、環境フェスタは 5 千人。また人数に対する費用対効果があげられますが、環境フェスタはかなり下位でした。

廃止も検討されましたが、環境課としては、環境について P R する大切な機会なので、一度休止として、令和 4 年度以降の環境フェスタについては、本協議会の場で議論していく、という結論になっております。

令和 4 年度以降と言いましたが、新型コロナウイルス感染症が増えている状況では来年度は収束する見込みもありませんので、休止としたいです。啓発事業の効果を確かめながら令和 5 年度以降にどうするか議論していく、ということをご承認していただきたいと思います。

啓発事業については一年間実施して状況報告をしますので、来年度以降に令和 5 年度以降の環境フェスタの実施について結論を出していただきたいと思っていますのでよろしくお願

い致します。

● 会長

啓発に対する費用対効果の判別は非常に難しいと思う。人数については1日だけで5千人ですと多い方だと思うが、3万人というのは、複数日で考えたイベントで3万人か。1日で3万人か。

● 事務局

イベント期間中の複数日でカウントしているイベントもあります。現状3万人を超えているのは江南市では藤まつり、市民花火大会、産業フェスタです。環境フェスタに限らず、廃止・統合・縮小になったイベントが多い。さらに今年は新型コロナウイルス感染症により中止が相次ぎました。

● 会長

本協議会の意見も尊重されるということですので、ご意見ありましたらお願いします。

● 委員

5千人規模のイベントに対して3万人の基準というのは厳しい。いわゆる花火大会、藤まつり、産業フェスタは楽しんでもらうイベント。一方、環境フェスタは、啓発というか、環境について考えましようという趣旨。それで5千人も来たら立派だと思う。その基準が私はおかしいと思う。コロナで中止になるのはやむを得ない。しかし、一生懸命環境問題に取り組んでいる人、一生懸命勉強して、いろいろな所でPRして、これからはSDGsの時代であるのに、来年度は中止で仕方がないが、今後、廃止とならないようによく検討していただきたいと思います。

もうひとつ啓発事業についてですが、全部事務局で行うということですか。

● 事務局

イベントの件ですが、事務局も同じ思いを持ち粘り強くやっています。本来、昨年度に廃止、と言えた状況でしたが、そうでなくて休止にしたのは、同じ思いで、このイベントは必要なものであると思っていますのでよろしくお願いします。

啓発事業については、新型コロナウイルス感染症がある中で、多くの人が集まって、とい

うのはなかなか難しいです。常時人が張り付くのは難しいですが、例えばフードドライブの際に、その横に啓発の内容のパネルを置くなど対応できると思いますので、協力していただけるということでしたら、場所を作って展示させていただきます。

来年 2 月にフラワーパーク江南の建物の一部分を借りて小イベントを開催したいというエコチャレンジ協議会の計画があります。それも新型コロナウイルス感染症の関係でどうなるかわかりませんが、一緒に展示するようなものがあれば、協力できるよという方、団体がお見えになりましたら教えていただければと思います。

● 委員

藤まつりや、産業フェスタなどと一緒にイベントとして実施すれば予算削減になる。来場者が少ないという点も解消できる。別のイベントに乗っかるという考え方もある。それからフードドライブに参加してもらおうと例えばポイントを与えてイベントで使用できるなど仕組みを作れば、間接的に参加できると思う。こういった形であれば予算削減されますし、今まで以上に皆さん食品を持ってこられるんじゃないかなと思う。要するに環境フェスタ独自でなく、いろんなところと一緒にやろうという考え方も構想に入れてみてはどうか。

● 会長

これまでの意見を要約すると、環境問題の啓発に取り組む活動を一生懸命行っている方々やそれを楽しみにしている市民は一定数おり、イベントとしては小規模でコストパフォーマンスは良くないかもしれないが、例えばイベントの統合化を進めてそういった課題を解決していけないか、という内容でしたと思います。

● 事務局

いいご意見をありがとうございます。例えば小牧市は環境の関係のイベントを、江南市で言う産業まつりで一緒に実施しています。実は環境フェスタは以前では、すいとぴあ江南で菊まつりと一緒に実施したなど、いろいろな場所で行っておりました。しかし、いろいろあって今は消費生活展と一緒にやっております。

環境フェスタの際のフードドライブではイベントですのでお越しいただいた方に粗品をお渡ししていますが、通常市役所や環境事業センターで行っている際にはありません。これに

についても以前からご意見いただいたことがあります。環境フェスタを今後どうしていくかという今後の議論の中で今いただいた意見についても十分検討していきたいと思っておりますので、どうもありがとうございます。

続いて、議題②「江南市のごみ収集体制について」、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今、江南市のごみ収集体制につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

● 事務局

環境課として今一番考えていることが2つあります。1つは資源ごみの排出困難者向けの戸別収集、高齢者や障害をお持ちの方が一人暮らしで資源ごみ集積所まで遠いから持って行けない、と困ってみえるため何とかしたいということで今考えています。もう1つは資料にもありましたようにリサイクルステーション、現在和田町にて月曜日から土曜日、10時から16時ということで実施しておりますが、常々市内南部や中央部にも、とご意見をいただいております。事務局では市内のどこかへ作りたいと考えています。様々な意見があるため具体的な場所については言える段階ではないです。難しい課題ですが、この2つは進めていきたいということになりますので、委員に区の代表の方もみえるので、皆さんの意見も取り入れて本協議会の中で方向性を出していただければと思っています。

● 会長

独居老人の方が結構増えてきますので、ぜひ実施していただきたいと思いますが、ご意見ご質問等ございましたら、よろしくをお願いします。

● 委員

資源ゴミの分別収集に関するアンケートを自分たちの団体に独自に対象者100人に対して未回収が、30%くらいありますけど、まとめました。細かく分析していませんが、資源ごみの収集について、頻度はどのくらいがよいか、立ち当番について、分別について、リサイクルステーションについて満足しているか、増設について、ごみ出し困難者について個別収集

は必要か、というアンケートを取りました。その中で、事務局が説明されたように高齢者の資源ごみ出し困難世帯について、障害をお持ちの方など、戸別収集が必要であると感じるなどそういったご意見もいただいております。また、そういった方は資源ごみの立ち当番は無くしていただきたいと、そんな意見もあります。「主人は障害を持っていて自分は早くから仕事に行かなきゃならない」、という切実な声もいただきました。「息子は他市町に住んでいますが、江南市の分別は大変難しいので江南市には引っ越してきたくないとっている」、そんな意見もあります。若い方は、立ち当番については無くす方向で考えるべきであると言っています。「新ごみ処理場を建設されるならよく考えてこれから10年後20年後を考えて、このままの体制でいいのかどうかをよく考えて欲しい」、と行政のトップに申し上げて欲しいという意見もございました。

立ち当番については特にみなさん興味がありまして、この立ち当番については、72人の意見をいただきまして、なくすべきが19人、なくしたほうがよいが31人、どちらでもいいなという人が6人、あったほうがよいという人が10人、必要であるという人が6人ございました。長年江南市にお住まいで、何十年も立ち当番をやってきたけど、最近になって「これはずっと続けてやれるのか」と疑問を感じてみえる方がたくさんみえました。

● 会長

区長をしていた時に、各班長にも立ち当番をお願いしていました。大変だったと思いますが、今思えばいいこともあると思います。班長さんやご家族の方が分別の大事さを知っていただいて、それにより家庭内で分別も進み、資源収集に積極的に参加するなど、そういう形になれば、それだけで立ち当番の方の負担が少なくなると思う。

● 事務局

立ち当番については、いろんな意見があります。必要だという方もみえるし、いらぬと言われる方もみえますけど、環境課としては近年、立ち当番を廃止して欲しいという声は以前に比べて増えてきてはいると思います。その声にどう対応していくか、市が考えないといけないことだと思っていますけれども、本協議会でも十分議論いただいて、意見をいただきたいと思っています。

江南市に住んでいる人は当たり前になっていると思いますが、若い人たちは「なんですかそれ」と言われるし、他市町村から引っ越してきた人には違和感がある方もあると思います。悪いところもありますし、いいところは活かしながら、悪い所は削りながら、だと思えます。協議会が環境フェスタの議題ばかりで機能していないというご指摘もありましたので、廃棄物減量等推進協議会として今後議論していただき一定の方向性を出せればと考えておりますので、みなさんご協力をよろしくお願いいたします。

● 会長

江南市は1日一人に対する可燃ゴミの排出量が県下においてでかなり少ない方ですし、資源ごみのリサイクル率は高い方です。立ち当番のシステムがそういうことに効果があるのかどうか分かりませんが、時代とともに検討し直さないといけないということでしょう。

● 委員

もう今のやり方は限界だと思う。1つは立ち当番をやれる人がいない、もうひとつは、集積場所が遠い。廃プラに容器包装に新聞雑紙、時には中型ごみ、そういうものを持って行こうとしたら車でなければ持って行けない。それができない人が多くなった。

今回、こういったテーマを考えていくことはいいことなので、色々な角度から検討してみたいと思います。しかし、2年間の任期で考えていくということでしたが、次の会議は2月を予定しているが、それではテンポが遅いと感じる。例えばワーキンググループを作り、集中的にこの問題を取り上げ、他市町などをもっと調査し、テンポを上げて検討するようにしていかないといけない。

今の進め方では多少改善はできるかもしれないが、思い切った改革というところまでいかない。せめて年内にもう一回ぐらい会議を行うことができればいいが、委員の皆さんの予定調整や会議場所の確保などあると思うため、少人数のワーキンググループを作ったらどうかと検討してほしい。まだまだ提案したいことはあるが、アンケートに書かせていただきます。

● 事務局

事務局としてもただただ進めていくつもりはありません。今の委員の方の任期が2年ですのでそこを一区切りと考えています。もちろん早く結論が出るに越したことはないです。

ワーキンググループというご意見がありましたので、例えば、本協議会には特別委員会という部門があります。本協議会は委員数が26名みえるので大人数で議論すると時間が足りない、ということでしたらそれも検討したいと思います。

長い間議論されていなかった内容ですので、一步でも進めるようにご意見をいただき進めたいと思いますので、よろしくお願い致します。

● 委員

環境フェスタについては費用対効果ではないという話をされていて矛盾するかもしれないが、この件はまさに費用対効果です。要望のとおり例えば当番をなくす、回収回数を増やすと必ずそれに対する費用は増える。

個人的には今の世の中のSDGsいわゆる作る責任、使う責任という考え方をすれば、使った後は使った人ができるだけ処分をする、ということが世界の流れです。自分たちでやることは自分たちでやる、またボランティア活動などもできる限りやるべきだと思います。市町がどこまでやるのか、住民はどこまでやるのか、収集に対する費用対効果のせめぎあいだと思います。

● 会長

ご意見出そろったということではよろしいか。

● 委員

SDGsの話が出ていい機会ですので、オリンピック・パラリンピックで使用されます金メダルなどは皆さんが使っていたかもしれない回収された携帯電話等から作成されたものでよろしいですか。我々も環境フェスタなどのイベントで回収に協力しました。

● 事務局

メダルプロジェクトと言いまして、全国で使用済小型家電を収集し、その中には金、銀、銅が使われているのでそれら用いて金、銀、銅メダルを作ろうというプロジェクトがありました。環境省がこれを機会に使用済小型家電のリサイクルを希少金属が入っているので進めたいということで行われましたが、新型コロナウイルス感染症に伴いあまりオリンピックと騒いでも良くないかもしれない、ということで環境省もあまりアピールしなかったのかもしれない。

れません。

ちなみに金はすぐに集まりまして銅も銅線とかですぐ集まりましたけど、銀がなかなか集まらなかったと聞いています。そもそも銀の使用量が一番多いはずですので、銀メダルは全部が銀、銅メダルは全部が銅、金メダルは銀の金メッキだそうです。

● 会長

時間もだいぶ過ぎました。もし追加ご意見がありましたら、江南市のごみ収集体制についての調査票がありますので、これを事務局へ出していただきたいと思います。

続いて、議題③その他について事務局よりなにかございましたらお願いします。

● 事務局

特にありません。

● 会長

2. そのほかについて事務局から連絡事項などございますか。

● 事務局

次回会議の日程については2月を予定していますが、うまく調整できましたら、変更し前倒しになる可能性もあります。先ほど委員からもご意見いただきましたので、また改めて通知をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

これをもちまして、第2回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。